



「ブロックワイン」 伝統文化の継承を

山梨・甲州市 小学生が体験授業

【山梨】わが国有数のブドウ産地で知られる甲州市勝沼町の菱山中央醸造(有)（三森齊代表取締役）では、毎年11月ごろに地元農家と一緒にブドウ酒「ブロックワイン」の仕込みを行っている。

ブロックワインとは地域ごとに農家がブドウを持ち寄り、伝統的な器具を使いながら手作業で仕込みを行うワインのこと。その年に

より持ち寄るブドウの品種も量も違い、毎年違った味に仕上がるのが特徴だ。ブロックワインの歴史は古く、昭和初期に農家が自家消費のために造ったといわれ、今も家庭の晩酌から冠婚葬祭まで、ブロックワインが地域のブドウ酒文化として深く根付いている。最盛期には菱山地区の農家50〜60戸がブドウを持ち寄っていたものが、現在は農家の高齢化などで20戸ほどに減少したという。

菱山中央醸造では、地域の小学校に体験授業の場を提供して次世代への伝統文化の継承に力を注いでいる。三森代表は「ブロックワインの醸造は地域の人々のつながりにもなっている。今後も地元農家と協力してブドウ酒文化を守り、若い世代にもつないでいきたい」と語っている。

全国農業 新聞

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

2021年(令和3年)
11月26日 金曜日
月4回金曜日発行

東日本版